

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成29年 6月23日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県一宮市東五城字備前1-1

氏 名 特定医療法人 泰玄会 泰玄会病院
理事長 宇佐美 覚

電話番号 0586-61-2121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	特定医療法人 泰玄会 泰玄会病院
事業場の所在地	愛知県一宮市東五城字備前1-1
計画期間	平成29年4月1日から平成30年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	医療業
② 事業の規模	診療科目18科目 一般病床100床 地域包括支援病床33床 血液浄化センター70床
③ 従業員数	323名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	医療行為により排出される感染性廃棄物を専用容器に入れて、委託業者により 収集運搬 中間処理により焼却処理し焼却灰を管理型の最終処分場にて埋め立てを行う。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
<p>当院、特別管理産業廃棄物規則を定め、マニュアルにて管理体制を作成体制図にて行う。</p>		
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（平成 28 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	排 出 量	75, 1 t t
	(これまでに実施した取組)	
<p>感染性廃棄物と非感染性廃棄物（一般廃棄物）を感染性廃棄物処理マニュアルによる徹底した分別を行う。 電子マニフェスト導入にて管理</p>		
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	排 出 量	75, 0 t t
	(今後実施する予定の取組)	
<p>引き続き廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアルに従い、適切な分別処理を行う。</p>		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<p>感染性廃棄物を処理マニュアルに従って、適切に分別を行う。</p>	
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<p>感染性廃棄物処理容器の一部をリサイクル容器に変更を検討する。</p>	

--	--

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t

		(今後実施する予定の取組)
--	--	---------------

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項		
①現状	【前年度（平成 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（平成 28 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	全処理委託量	75, 1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	75, 1 t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	17, 5 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

		<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>委託基準に従って 感染性廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。</p>
--	--	---

(第5面)

	②計画	【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
		全処理委託量	75,0 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	75,0 t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	18,0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>可能な限り優良認定処理業者より選定する。 委託処理業者の現地確認を定期的実施する。</p>		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。